



大人の研修講座⑤

ゲームの長時間化に歯止めを

日南町の小中学生のほとんどがゲームを行っているのが現状です。以前でしたら、ゲーム機でソフトを購入してゲームを楽しんでいたのですが、オンラインゲームが主流となってきました。

オンラインゲームとは、インターネットを介してゲームサイトに接続し、ゲームをするものです。同時に複数の人がプレイできるものも多くあります。ゲームサイトによっては、プレイヤー同士が情報交換したり、ゲームを有利に進めるためにアイテム（ゲームで使う道具）を交換したり、購入したりすることもあります。

また、ゲームを飽きさせない心理的な工夫がなされています。したがって、ゲームの長時間化につながっています。

日南町の児童生徒もこの傾向にあり、小学校で4時間以上行っている児童は12.0%、中学生で5.4%います。小学生では、鳥取県・全国を上回る数値です。特に、低学年での長時間傾向は他の学年を大きく上回っています。中学校においては、鳥取県・全国を下回る数値となっています。小学校に入学する前からゲームを楽しんでいる現代っ子です。長時間化から「ゲーム依存」にならないよう保護者として気を付けてあげましょう。

ゲームサイトでトラブル増加

今、日本各地で多くの子どもたちがゲームやゲーム機に関するトラブルに巻き込まれています。大人はまず、どんなトラブルがあるのかを知り、子どもたちをトラブルから守る必要があります。トラブルまでではないものの、ドキドキした経験はほとんどの児童生徒が経験しているものと思われます。安心安全な環境づくりが大切です。

【事例1】 無料ゲームのはずが料金を請求された。

- 8歳の娘に自分の携帯電話で無料のゲームをさせていたが、有料のアイテムを何個も購入したようで携帯電話会社から5万円もの料金請求が届いた。

【事例2】 ゲームサイトが突然危険なサイトにつながり利用料を請求された。

- 13歳の息子がパソコンで無料のゲームサイトを利用していたところ、突然アダルトサイトの利用料金5万5千円を請求する画面が表示され消えなくなった。

【事例3】 ゲーム相手に誘導され、クレジットカードで商品を購入した。

- 7歳の息子がオンラインゲームをしていたところ、ゲーム相手からクレジットカードを使って好きなゲームやアイテムなどを購入する方法を教えられ、その通りに行って、約100万円の請求が届いた。

【事例4】 チャットや通信プレイで相手方から誹謗中傷を受けて、精神的ショックを受けた。

- 子どもたちは、オンラインゲームで見知らぬ人から、一方的に「死ね、馬鹿。」と中傷され、ショックを受けたと口々に訴えた。

スマホゲーム、2歳児がアイテム購入?!

9歳以下の無断決済が急増

スマートフォンでのオンラインゲームをめぐるトラブルで、9歳以下の子どもが親に無断でクレジットカードを決済し、料金を請求される事例が増えている。9歳以下に関する平成25年度の相談が前年度の約3倍の490件に急増したことが6日、国民生活センターへの取材で分かった。相談総数5904件の約8%を占めた。14年度の約2カ月間でも約13%と比率がさらに高まっており、同センターは注意を呼び掛けている。

5歳以下の無断決済相談が占める割合は10年度が1%未満だったが、13年度には約2%、14年度も5日現在、約4%に。最年少は2歳児がカード決済したケース。年長のきょうだいはゲームがどこまで無料で遊べるか理解していたが、カードが使える状態でスマホを渡された2歳児は画面をいじっているうちに有料のアイテムを購入し、課金されてしまったという。

同センターは「親がおもちゃ代わりにスマホで遊ばせるようになり、操作に慣れた子どもが増えていることが背景にある」と注意を促している。

産経新聞（2014年6月6日付）

驚きですが、2歳児が6万円もの大金をスマートフォンで電子決済していたというものです。多額の料金が請求されるケースもあり、酷い例では中学生が約200万円請求される事例などもあったといいます。なお、未成年によるカード決済額の平均は約23万円と高額になっているといいます。親は請求が来るまで知らなかったり、毎月の請求が少額で気づかなかったりするケースが急増しています。

スマートフォンは、おもちゃではありませんし、ゲーム機でもありません。乳幼児の頃から、親が子どもにおもちゃ代わりとしてスマホを渡して遊ばせていることが多いということで、スマートフォンの操作に慣れた子どもが増えていることが背景にあると考えられています。

このマークを知っていますか？

このマークを『CEROレーティングマーク』といいます。このマークは、「CERO」が審査を行い、ソフトの表現内容によってふさわしい対象年齢を示しています。必ず、ソフトを購入する場合はこのマークを見てご購入ください。

映画の{R15}・「R18」と同じような意味を持つマークです。



知っていますか？こんな言葉!!!

①アイテム課金：

ゲームで使う道具、物品をアイテムという。釣りゲームなら、釣りざお、戦闘ゲームなら武器、着せ替えゲームならファッションアイテムなど。これらを購入するためには仮想のお金に換金しなければならない。